

景観計画素案の地区別説明会での主な意見

勝山市では、景観計画の素案を策定後、市民の皆さまのご意見をお聞きするとともに、計画へ反映することを目的に、市内10地区で説明会を開催しました。

説明会では、直接市民の皆さまのご意見を聞く中で、各地域に残る素晴らしい景観はもとより、市内全域にわたる勝山市特有の眺望景観を保全することへの意識の高さを感じました。

ここで、説明会でいただいたご意見とそれに対する回答をいくつかご紹介します。



ご意見	市からの回答
Q. 個人の田んぼの畦畔を直す際、コンクリートでなく石積みを強制するものなのか。	A. 石積みはすばらしいですが、今回の計画ではそこまで強制するものではありません。
Q. 景観計画により法的制限がかかれば、経済効果に悪影響が生じるのではないのか。	A. 大規模行為に該当する場合、景観配慮の指導がされますが、行為そのものを禁止するものではありません。
Q. 景観を阻害する建築物は事前に規制が必要であり、完成してからでは遅いのではないのか。	A. 市内全域において、大規模行為や特定景観計画区域内における建築物などは、事前に届け出をしていただき、景観への配慮を求めることとなります。
Q. 景観計画では建築物の色まで制限するとなっているが、色の使用は個人の自由ではないのか。	A. 特に景観に大きな影響を与える延べ床面積500㎡以上の大規模な建築物が対象になります。
Q. 景観重要建造物や景観重要樹木に指定された場合、制限がかかるため補助制度が必要ではないのか。	A. 個人の財産を公の財産と捉えて適度な維持管理が必要となるため、何らかの支援制度の検討を予定しています。

【その他のご意見】

- 景観計画は非常に立派な計画だと思う。よって、景観の指導が行われるべきで、その仕組みが必要である
- 飯山市のように、屋外広告物の規制は強化すべきである
- 耕作放棄地、松枯れ、資材置き場の改善が必要。また山土砂の採取に対し、市からの指導を徹底すべきである
- 公園の樹木や街路樹は自慢の景観であり、自分の家の前の落ち葉の後始末は自分ですべきである
- 山際の荒れた農地にどんぐりやナラの広葉樹を植えれば、グリーンベルトにもなり景観によい。併せてクマ対策にもなるのではないのか

まちづくりセミナーの開催

景観をどのようにまちづくりに活用したらいいのか、これからの住民主導の景観づくりを考える上で、ぜひお役立てください。

と き ▼12月20日(月)
午後2時15分～4時30分

受付 午後1時30分～

と ころ ▼勝山市市民会館 大ホール

主 催 ▼福井県都市計画協会・福井県内容▼

◆事例紹介(都市政策課職員)
「E+コミュニケーション構想と景観計画」

◆講演
演 題 ▼「なぜ今景観なのか
—成長から持続に向けた
まちづくりのために—」

講 師 ▼内村 雄二氏
(福井工業大学土木環境工学科教授)

※講師の主な経歴

- 福井県都市計画審議会委員
- 福井市都市計画策定委員
- 勝山市都市計画審議会専門委員
- 勝山市景観審議会委員

定 員 ▼200人(先着順)

入 場 料 ▼無料

◎ 都市政策課 ☎ 88-8108

勝山市景観計画(素案)の概要説明(第6章・第7章・第8章)



勝山市の景観を特徴づける眺望景観を形成する要素の一つに、市街地外縁部に広がる美しい田園集落景観があります。

雄大な山並みの前景となる農地、河岸段丘の特徴ある地形と融合した石積み、農地や山間の中に点在する集落や鎮守の森など、人々の営みの中で生まれ、育まれてきた農業景観には特有の美しさがあり、人々の心の原風景となる大切な景観です。

国が定めた景観法の仕組みの中には、景観保全の観点から農地の維持管理に対し一定の制限が加わる仕組みも用意されていますが、現時点において



良好な景観の形成に自ら努めるとともに、市が実施する施策に協力します

【市の責務】
良好な景観の形成を図るため、総合的な施策を実施する。また、施策の策定および実施にあたっては、市民、事業者の意見を反映させます

【事業者の責務】
良好な景観の形成に理解を深め、積極的な役割を果たすよう努めるとともに、市の施策に協力します

【市民の責務】
良好な景観の形成に理解を深め、積極的な役割を果たすよう努めるとともに、勝山市に暮らす人々全てが景観づくりの担い手です。

第6章 景観重要公共施設の整備に関する事項
おおよび占用許可の基準について

市民に親しまれ、また景観形成上大きな影響を与える道路、河川、公園などの公共施設のなかで、特に重要と位置づけられる公共施設において整備方針を定め、周辺地域の景観と一体となった整備を図ること、良好な景観形成を図っていきます。

第7章 景観農業振興地域整備計画に関する事項について

第8章 計画の実現に向けて

は、そこまでの内容を景観計画に組み込むことはできないと判断しました。ただし、農地を保全することの重要性を計画の中で記述することとします。